愛川町議会
観光・産業連携拠点づくり事業
議会検討会会議録

令和2年1月23日（木）

○中山議会議務局長 皆さん、おはようございます。

本日、仮称ではありますが、観光・産業連携拠点づくり事業議会検討会ということで、早速、皆様にお集まりいただきました。まず、初めに私のほうで進行させていただきます。

先日の全員協議会（議員のみ）におきまして、観光・産業連携拠点づくり事業に対する議会検討会を再度、設置することといたしました。ただ、まだ正式には名称、そして正・副会長が決まっておりません。したがって、議事日程に入るまでの間、私のほうで進行させていただきます。

初めに、馬場議長からご挨拶をお願いいたします。

○馬場議長 皆さん、おはようございます。

大変寒い朝を迎えましたけれども、きょう一日、雨が降って寒いらしいです。湿度があるんで、そんなにウイルスは飛ばないでしょうけれども、視察の日程もありますし、風邪などをひかないように、皆さん気をつけていただきたいと思います。

きょうは観光・産業連携拠点づくりに関しましての全員での検討会です。活発な意見を出していただけるようお願いをいたしまして、挨拶いたします。よろしくお願いたします。

○中山議会議務局長 ありがとうございます。

それでは、初めに、日程第1、名称について及び日程第2、検討会長の互選について行っていただくわけですが、議員全員での検討会です。馬場議長に臨時会長の職務を行っていただきたいと思います。

それでは、馬場議長、よろしくお願いたします。

○馬場議長 事務局からの説明のとおり、会長が選出されるまでの間、私が臨時の職を務めさせていただきますので、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

午前 9時00分 開会

○馬場議長 定足数に達していますので、ただいまから（仮称）観光・産業連携拠点づくり事業議会検討会を開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりですから、ご承知願います。

議 題

(1) 日程第1 名称について

○馬場議長 これより日程に入ります。

日程第1、名称についてを議題といたします。

先日の16日に会派代表者会議を行いまして、名称について協議をいたしましたので、そ

の協議結果について、事務局から説明させます。

事務局。

○中山議会事務局長 それでは、私のほうから、名称についての協議結果のほうを説明させていただきます。

名称につきましては、先日の全員協議会等で皆様からさまざまなご意見をいただいておりますが、正副議長及び会派の代表のほうにお集まりいただきまして、この関係でご協議をいただいたものです。

その結果、本事業につきましては、半原水源地だけではなく、町全体の観光産業の拠点づくりを目的とした事業であるため、半原水源地だけにとらわれることなく、今後、町全体に波及していくであろう観光産業の連携を目的とした事業についても、継続して議会の監視を行っていく必要があるということ。また、基本計画だけではなく、今後の計画や予算等におきましても、議員間でいつでも議論が行えるような会議にしていきたいという理由などから、これまで観光・産業連携拠点づくり事業基本計画議会検討会ということではありましたが、ここから基本計画を取り除いた観光・産業連携拠点づくり事業議会検討会とすることといたしたものでございます。

説明は以上です。

○馬場議長 説明は以上のとおりであります。

皆さんのほうから何かありましたら、ご意見をお願いいたします。

何かご発言ありますか。

茅議員。

○茅議員 今、事務局のほうから説明があったんですけども、個人的には半原の水源地跡地の問題で今、こうやって集まって、今後について話をするかと思ったら、町全体だったり、それを中心で、またそこから愛川町全体になると、長期のビジョンで話は終わるのか、単発のその水源地跡地だけで話し合うのか、その がどうなるかというのが、何かどう話していいのかわからないところがあって、基本的にこの会議は長期のビジョンまで話を、まず例えば水源地跡地の話をして、そこからほかの拠点をして愛川町の全体まで広がるまでのビジョンの話をするというのでよろしいですかね。

○馬場議長 基本的にはそういうことでしょうけれども、これはこの検討会の中で皆さんで議論をしていただくということになります。

ほかに何かご意見ありますか、名称についてということですけども。

(発言する者なし)

○馬場議長 よろしいですかね。

(「はい」の声あり)

○馬場議長 それでは、お諮りをいたします。

ほかに意見がありませんので、日程第1、名称につきましては、ただいま協議しました

とおり、観光・産業連携拠点づくり事業議会検討会に決定することでご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○馬場議長 ご異議ないものと認めます。よって、日程第1、名称については、ただいま協議したとおり、観光・産業連携拠点づくり事業議会検討会に決定をいたしました。

議 題

(2) 日程第2 会長の互選について

○馬場議長 次に、日程第2、会長の互選についてを議題とします。

それでは、これより会長の互選を行いたいと思いますが、互選をする間、暫時休憩をいたします。

午前 9時06分 休憩

午前 9時07分 再開

○馬場議長 それでは、再開をいたします。

休憩前に引き続き会議を行います。

お諮りします。

会長を井出議員と決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○馬場議長 ご異議ないものと認めます。よって、井出議員を会長とすることに決定をいたしました。

以上で、臨時としての職務は終わりましたので、新会長と交代いたします。

ご協力、大変ありがとうございます。

○井出会長 それでは、ただいま会長ということで、皆さんのほうから決めていただきまして、就任をさせていただきました。町の大きな事業にかかわっていくわけでございますので、皆様、基本の良識にかなった検討会の決定のために、皆様と一緒に合意形成が図れれば、
と
思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いしたいと思います。就任のご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いたします。

議 題

(3) 日程第3 副会長の互選について

○井出会長 それでは、続きまして、日程第3、副会長の互選についてを議題といたします。

これより副会長の互選を行いたいと思いますが、互選をする間、暫時休憩します。

午前 9時09分 休憩

午前 9時10分 再開

○井出会長 では、再開します。

休憩前に引き続き会議を行います。

お諮りします。

副会長を小林議員と決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○井出会長 ご異議ないものと認めます。よって、小林議員を副会長にすることに決定いたしました。

暫時休憩します。

午前 9時10分 休憩

午前 9時10分 再開

○井出会長 再開します。

休憩前に引き続き、会議を行います。

議 題

(4) 日程第4 今後のスケジュール等について

○井出会長 続きまして、日程第4、今後のスケジュール等についてを議題といたします。

それでは、事務局から説明願います。

事務局。

○中山議会事務局長 それでは、私のほうから、今後のスケジュール等についてご説明いたします。

お手元に配付をいたしました観光・産業連携拠点づくり事業議会検討会予定表(案)をごらんいただきたいと思います。

先日の全員協議会(議員のみ)におきまして、理事者側の質疑を行うということで決定をいたしておりますので、そのようなスケジュールとさせていただいております。

初めに、左の表が1月の予定としておりますが、本日、23日に検討会を開催し、正副検討会長の互選、及び今後のスケジュールについて協議をいただきます。

そして、本日から2月3日までを事業計画中間報告に対する質疑項目について、会派等

で意見をまとめる期間といたしまして、2月3日の午後5時までに質疑通告書を提出していただきたいと思います。

次に、2月3日から18日の週末までの期間を理事者の調整期間といたしまして、21日の議会運営委員会終了後、議会検討会を開催し、質疑応答を行います。質疑の方法等については、後ほどご説明させていただきます。

続きまして、質疑終了後からは質疑等を踏まえ、会派及び個人の意見をまとめる期間といたしまして、3月議会初日に再度、議会検討会を開催し、議員間の討論、そしてまとめと進めていただきたいと存じます。

なお、ここでのまとめにつきましては、計画に対し賛成か反対かというようなまとめではなくて、先日の町側の説明におきまして、町民に対して事業説明を行い、町民の意見を確認することの容認をいただきたいというようなことでありましたので、その可否についてご判断いただきたいということでございます。

次に、質疑の方法でございます。

お手元に配付をいたしました観光・産業連携拠点づくり事業議会検討会の質疑応答のA4の紙をごらんいただきたいと思います。

先ほどのスケジュールと重なる部分もあろうかと思いますが、ご了承いただきたいと存じます。

初めに、開催日時、場所でございます。

令和2年2月21日金曜日、議会運営委員会終了後、役場の4階会議室で行います。

答弁のために出席する町理事者といたしましては、町長、副町長、総務部長、企画政策課長、企画政策課職員等を予定しております。

質疑の内容につきましては、12月17日火曜日開催の全員協議会（議員のみ）におきまして、理事者側から説明のありました本計画の見直し、中間報告を基本として質疑を行うことといたします。

質疑通告の締切日は令和2年2月3日月曜日、午後5時までといたします。

質疑の順番につきましては、会派代表質問等の順番表によりまして、今回はあいかわの聲が1番、2番が公明党さん、3番が共産党さん、4番が小島総一郎議員、5番が佐藤茂議員ということをお願いしたいと思います。

また、質疑の方法につきましては、①会派、個人によります質疑項目ごとの一問一答を主とし、再質疑も同様とします。

②質疑項目ごとに質疑者の交代は可能とします。これは会派の場合になります。

③持ち時間は質疑、答弁の合計で1人20人といたしまして、上限は90分といたします。したがって、あいかわの聲は90分、公明党、共産党さんは60分、小島総一郎議員、佐藤茂議員はそれぞれ20分ということになります。

また、④番の既に質疑が終了した他会派等との質疑項目が重複しており、納得できる内

容であった場合は、質疑項目自体を省略する旨を宣告して、次の質疑項目に移ることとします。

また、⑤既に質疑が終了した他会派等との質疑項目が重複しており、別の視点で再質疑を行う場合は、重複する1答目を省略する旨を宣告し、直ちに再質疑を行うこととします。その場合に、省略する旨の宣告をしなかった場合は、理事者の答弁において、「○○○につきましては、○○議員、○○会派の答弁と同じ内容であります」などの簡略化した答弁といたします。

基本的には今までの基本計画の検討会と同じ方法で進めていただきたいと思います。変更点といたしましては、会派の構成が変わった関係で、少し持ち時間につきまして、先日の会派代表者会議において議論していただいた結果でございます。

説明は以上です。

○井出会長 説明は以上のとおりであります。

それでは、協議をしていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

理事者のほうには検討会の案として、質疑応答のこちら日程から最終の質疑の方法まで、順次と思ったんですが、開催の方法、質疑の方法等も含めて、これが変われば、日程等も変わるかもしれませんので、皆様から、その質疑の方法等についても含めて、何か思いがあれば、

いただければと思っております。

いかがでしょうか。

○渡辺議員 全体的な流れですけれども、質疑の内容について、本計画の見直し、中間報告の部分について質疑を行う。今、局長が基本としてという言葉が入ったんですね、質疑を行う。そこら辺がはっきりわからないんですよ。うちの会派としたら、この拠点づくり事業全体の質疑をしたいんですけれども、この中間報告の部分についてのみ限定するというのは、基本構想までさかのぼって、全体的な一般質問的な形でやりたいと思っているんですけれども、これは町側との調整の結果ですか。

○井出会長 事務局。

○中山議会事務局長 基本としてという表現をちょっとさせていただいたんですけれども、一応前回の議員のみの全員協議会で、そのようなお話がありまして、それで質疑なので、質疑、自分の意見を言えないというようなところで、議長のほうから、そういうことではなく自分の意見も言ってもいいんじゃないかというようなお話があったと思うので、その辺、そうすると、質疑によっては、その構想のほうに発展したりするのかなというところで考えておまして、そこでそこを中間報告を基本とした質疑というような表現をさせていただいたので、範囲を全体に広げるといった意味ではなく発言させていただいたんですけれども。

以上です。

○井出会長 渡辺議員。

○渡辺議員 そういうことは質疑ということは、最初の項目の部分では、見直しの部分についてのみ質疑通告を出す。再質のときには、もう全体的に広がってもオーケーということで、そういう理解でいいですか。

○井出会長 その辺は代表者会の中で。

○渡辺議員 そういうふうな会の代表の中では話したんですよ。それが今聞いてみたら、ちょっとニュアンスが違っちゃっているんで。

○馬場議長 基本的にはその町側とは中間報告というか、その見直し案に対しての質疑ということは言われておりますけれども、それだと結局、再質のほうで町側が準備できないと困りますから、だから1問目からなるべく詳しく構想なのか、計画なのか、もっと大きくなのかというのを質疑要旨に入れておいてほしいと思います。再質からちょっと構想のほうにいったりすると、ちょっとやっかいなことになるので、最初から質疑要旨の中で構想について、このところはどうかというのを入れてもらえばいいんじゃないかと思っておりますけれども、なるべく詳しくね。

(発言する者あり)

○井出会長 小島議員。

○小島議員 これだともう見直し案ありきになっちゃうんだけれども、代表者会議でどういう議論されたかは、さっきの事務局長の説明だと、半原水源地に限らず、観光、この検討会ということで代表者会議で決まったということは、要するに町の基本計画だとかに縛られずに、自由な議論ができるということで、代表者会議で話し合ったんじゃないんですか。

ただ、これ、この質疑のA4の21日の進め方ということになると、何か見直し案に対する質疑のということにまた戻っちゃっているんだけれども、最後に説明で、3月2日の検討会のまとめの中で、町側としては、この見直し案を町民への説明をしてもいいかどうかという容認を決めてほしいという、じゃこれ最終的には、この見直し案に対して、議会が町民に説明してもいいですよ、だめですよという結論を検討会に対して要請しているという、そういうことなんですか。それについて確認をしておきたいと思います。

○井出会長 今の大変これ実質的に重要な問題だと思いますので、最終的に結論を出したときに、町側の今の中間報告に対しての見直し案を町民に説明していいかどうかという、その判断をするというところに絞っていいかどうか、その辺も含めてですけども、皆さん、どうですか。

議会事務局。

○中山議会事務局長 そうですね。小島議員さんおっしゃるように、今回の検討会、議員間の中で自由な討論をしていきたいと思いますということで、全員で立ち上げるということで決定したものでございますが、今回につきましては、先日の中間報告に対しての質疑とさせていただきますが、その後はずっと継続して、この検討会を続けて議員間で賛成の意見、

反対の意見、そういった議論を続けていただいて、合意形成を図っていくというような会
としたいということでありますので、今回につきましては、こちらのこの間の説明のあり
ました見直し案、中間報告の部分の質疑とさせていただいたものでございます。

以上です。

○井出会長 私のほうから、名称の段階で、あえて見直し、中間報告というのは省いたわ
けですね。 さんのということで、事業自体、全ての問題についての検討会にす
るんだということで名称を決めたということで説明があったと思うんですけども、それ
からすると、ちょっと今、若干ニュアンスが違うのかなという気がしないでもないだけ
れども、その辺の整合ってありますか。

○中山議会事務局長 すみません、ちょっと説明が下手で申しわけないんですけども、
今回、スケジュールをお示ししましたのは、ここの中間報告に対する質疑までのスケジ
ュールでございます。

この後、今までの検討会ですと、ここで町の計画に対して質疑をして、議会の結果とし
て意見、提言書を提出した時点で終わりと、終了ということであったんですけども、こ
の今回の検討会につきましては、ここで終わりではなく、今回、中間報告に対して質疑を
して、その後、こちらの皆さんで議論していただいて、まとめというところで終わりとい
うことではなく、この後、また半原水源地だけにとどまらず、町全体に波及するような観
光・産業の連携を図るような事業が、今後もいろいろ中津方面だったり、高峰地区であ
ったり、そういったものが出てきても、そこでまた議会検討会を立ち上げるのではなく、町
全体の観光・産業の連携を図る事業を、議会としても町と一緒に議論していこうとい
うことでございますので、ここで終わってしまうと、会長がおっしゃっていたようなことにな
るんですけども、ここで終わりじゃないよということで、その基本計画というところを
取らせていただいて、観光・産業連携拠点づくり事業での検討会ということにさせていた
だくものでございます。

以上です。

○小島議員 ということは、要するに2本立てね。だから、要するに観光・産業の連携事
業については、半原水源地だけに限らず、ほかのところでもいろいろ計画が出てきた場合
に、これがあれば継続して、ここでいろいろ議論をしていこうと。そういう形で今度の検
討会をそういう形で立ち上げて、もう一つは、今、町が横須賀水道の水源地跡地でやろう
としている、この計画については、3月の議会までに議会として見直し案に対して、きち
んと結論を出してくださいという、そういう捉え方でいいね。

○井出会長 はい。

○中山議会事務局長 そうですね。結論というのは、この事業に対して賛成か反対かとい
うことではなくて、今、現状は町のほうも大きな事業でございますから、議会の一定のご
理解がいただけないと、先へは進められないと。したがって、町のほうでは町民の方への

説明がまだできていないという状態であります。

ここで先日の議員のみの全員協議会の中で、町側から中間報告の説明がございました。それに対して、議会として質疑をしていくということでもありますので、ある程度、議会の中でも一定の結論を出していかないといけないのかなということでございます。

また、そこで繰り返しになりますが、賛成、反対という意見は16人の議員さんがいらっしゃるんで、いろんな意見がありますので、そんな簡単には出せないということもございますので、とりあえず、その町民への説明責任を町のほうも果たさないといけないと思いますので、その町民のほうに説明をして、町民からの意見を聞いていかどうかというところを、まとめとして今回の3月2日のまとめのところで皆さんでご議論いただきたいということで、スケジュールの予定のほうを立てさせていただいたものです。

以上です。

○小島議員 ということは、逆に町は別に議会の了承を得なくたって、別にどんどん説明すればいいことであって、これを議会が、議会のお墨つきを与えちゃうと、議会の責任になっちゃうんじゃないの。それを皆さん、どういう理由で責任をとるかというのを考えないといけないと思うんですよ。

町長の最近の挨拶の中で、議会の皆さんで了承を得ていただいたたら、町民の皆さんによく説明しますって。これは何か議会のお墨つきを与えたものを町民に説明をする。そういうときに町民の皆さんが本当に自由な意見が出てくるんですかね。どうなんですかね。逆にね、議会での了承をもらえないんだけど、我々は町民の皆さんに説明責任を果たしますと説明するんだったら、どんどんやっていただいて結構だと思うんですけども、どうなんでしょうか。

以上です。

○井出会長 小島議員のほうから、今、お話が出ましたけれども、町側の3月以降の町民に説明していくという過程において、議会が承認するかしないかということを含めて、その辺もちょっと意見がございましたら、どんどん言っていただければと思います。

佐藤委員、お願いします。

○佐藤（茂）議員 本当にそのとおりですね。ですから、もう今、きょうの話で、どんどん町民に説明してくださいと、逆にきょうの集まりでもそういう話でしたということ伝えてほしいぐらいですね。

○井出会長 ほかにどうですか。

佐藤委員。

○佐藤（り）議員 今、事務局のほうからのことでわかりましたような、前回も会派でいろいろ協議をして、私なりに理解したんですけども、やはり16人、さまざまいろんな意見があると思うんですね。質疑をしながら、賛成である部分もあったり、反対である部分とか、なので議会として結論を出して町に提出するというのは、それは少しできない部分

もあると思いますので、議会としての考えを、こういう意見もあって、こういう意見もありましたよということで出す方向で、そのほうがいいかなと思うんですね。

最終的な判断は町長になると思いますが、議会の結論ではなくて、こういう意見が出た中でも、町民のほうに説明をするという、そういう進行がいいのかなと思うんですけども。

○井出会長 ほかにどうですか。

はい。

○熊坂議員 そうですね、この名称から先ほども言われて、観光・産業連携拠点づくり事業という検討会をまたつくるといことなんですけども、先ほど言われたとおり、この質疑内容の本計画の見直し、中間報告の部分についてということは、これ今までと全く同じなんですよ。町から出されたものをこちらから要望して、何か議会がそれに承認しているという形は今までそうだったんですけども、それを昨年全協のときには、それだともう議会が毎回毎回、お墨つきをあげているから、そういう流れはやめましょうと。フリーな本当に今のこの計画ですと、全く観光・産業拠点になっていないと。

だから議会としたら、もうちょっと町全体でできるようにしてほしいということで、今回、この検討会を開くんですけども、またこれだと中間報告のまた議会が出して、町側がそれを直したら、もう議会のお墨つきを得ていますというふうになってしまっているの、本当にこの質疑内容はもう一度ちょっとここで、本当にこれでいいのかというのを全議員で話したほうが、何か今までどおりで、今後も町が出されたものを私たちが出されたものを、それだと全く今までと同じだなという思いはあります。

以上です。

○井出会長 いかがですか、思いがあれば、先に皆さん、ちょっと言っていたきたい。

山中議員。

○山中議員 今の事務局からの説明聞いて思うのは、今、議会がこの事業に対してどういう姿勢なのかということが、行政側がわかっていないんじゃないかというふうに私は思うんですよ。これまで、先ほど熊坂議員がおっしゃっていたような、我々も合議制機関ですから、縛りのある中で、それぞれ個人がいろいろな思いがあったとしても、議会で結論を出さなくちゃいけないということでやってきたわけですよ。

それだとなかなか向こうに伝わりにくいということで、この間の全協の中で小島議員を中心として、全協でやるのはちょっとやめようという話が出てきたと。だけどそれはやっぱり大きな事業だから全員でやりましょうよという話にまとまってきているわけ。そのかわりに、この事業の細かい出てきたものに対してどうだではなくて、我々が一人一人、みんな思いが出せるような議論をしましょうというところから始まったわけですよ。

でも、向こうとしては、今出してきたものがあるわけだから、この3月までには、まずこれに対してやってくれと、こういうふうに、向こうの思いもわかるんですよ。わかるけ

れども、じゃ、それ応えましょうとやってしまうと、環境議会はあくまでも出したものに対してどうするかという、このやりとり、今までと同じことを向こうは感じる。そこで出てきた答えはいいよとか言いながら、何か裏ではだめだよと個人個人が今言っているような感じに向こうはとられているんじゃないか。それは余りお互いの関係性としてよろしくないなど私は思っています。

だから、今回、ここで新たな名称が変わったわけですから、今まで基本計画の議会検討会、それが今度は事業全体の基本計画検討会ということであるならば、ここで我々は向こうから言われたことで返すのではなくて、我々も議論の仕方があるという姿勢は最初に見せておかないと、結局ずるずるいってしまうんじゃないか、そんなふうには思うところですね。これがまず大きな話です。

もう一つあるのは、私が気になっているのは、12月議会の段階で、これに関する陳情が出ていますよね。だけれども、これを審査するか、それとも机上配付にするかというのをうちの会派の中でさまざま議論したんですけれども、全体としてどうであるか、ちょっと置いておいて。これは机上配付にして、そのかわりこの検討会つくって、そこで議論していこうと。それはなぜかという、陳情者が議員全体に対して思いを伝えたいということがあるんだという情報があったんですよ。

であるならば、ここでイエスとかノーとか、そういう話じゃなくて、その住民の一住民だけれども、関心の高い住民と我々とで議論する場というのがないねと。じゃ、この会議やりましょうと言っていたにもかかわらず、ここでもし3月までこの問題やらなきゃならない、こっち、僕らめいっぱいいいかなきゃならないから、おくれていくわけですよ。私はまずそういうところから先にやっていくことが、議会としての役割なんじゃないか。私はそんなふうには思っているんですよ。

以上。

○井出会長 ほかにいかがですか。

今、非常に意見が出ている中で、やはりこのスケジュールの中で、最初に21日に行われる質疑応答について、どう質疑していくかという大きな問題になってきていると思いますので、これは全体的にやはりこのスケジュールという名称というよりも、この案に対してどう町が、議会が対応していくのかというのを、ちょっとまた振り出しに戻っちゃったというか、原点まで戻ったところで議論しているのかなという部分があるので、その辺について、逆にもう我々が1回出てきた中間報告については、意見、提言を出しているわけですね、今までの検討会については。

今回、また町側はそういう意味で、また再検をさせていただいて、新たにまたしていただいた経緯がある。その中でもその前提があつての今回の検討会ですから、そのところも踏まえて、できればお話をいただければと思うんですが。ちょっと今、もう一回振り出しに戻っちゃったかなという気がするんですが、その辺はどうですか。

○山中議員 先ほど小島議員から出た話に関していうならば、私も賛成なんですよ。ここでお墨つきを与えてから説明じゃなくて、もうつくっているんだから、行政の側に資料があるわけだからね。それはもう説明されたらいいと思うんですよ。もちろん我々に対する配慮というのはわかるけれども、配慮なんだか、お墨つきを与える機関だと思っているのか、よくわからないところがあるんで、我々違う意見があったって、それはそれでいいんじゃないかというふうに思うんですよね。

以上です。

○井上副議長 今ね、今までの経緯からしてというか、井出委員長が言っているように、中間報告がされたということで、再度、議会に対する配慮と、それで説明ね。議会が提言書という文書を出したわけですから、それに応えた、十分検討してこういう見直し案をしましたよということで報告があったわけですよ。まるっきり議会を無視して中間報告をつくっているわけじゃないですから、説明がありましたよと。

それに対して前回の全協のそのときは報告のみで、それに対する質疑をやりましょうよということは確認しているわけですよ、皆さんね。ですから、この質疑はこの検討会でやるのと、それとあと、全体のこの連携がどうなっているのか、今後を含めてね。だから、検討会で今後ほら議論することについては、検討会の性格上、産業活動のこの事業ですから、2本立てね。今後、拠点についての議論と、全体の連携を今後どう構築していくのかという議論は、検討会の性格上、そういう位置づけにもなってくるのではないかということで、前提があってやはり検討は経緯からすれば、していくべきでしょうと。この事業についての賛否はこの検討会で出す性格じゃないですからね。

○井出会長 阿部委員。

○阿部議員 私が言いたいこと、結論から先に言いますと、質疑やりませんかということですよ。今お話しされているのは、まとめというところでちょっと行ったり来たり、そこに至る経緯みたいなお話になっちゃっているんですけども、その例え質疑応答した、その後ですとか、その日じゅうのその後ですね、理事者は引いていただいて、そこでまた開いて、じゃこの後どうしますか。一応事務局がこうやって予定出してくださっていますけれども、そこで検討したらいかがでしょう。

だから、例えばこの質疑をして、その後ですね。その後、じゃどうするの、まとめるの、いや、聞いた限りでは、やっぱりお墨つきを与えようよ、与えない。いや、お墨つきどうこうは、そんなのは要らないから、議会のことを気にせず、どうぞ町は発表してください。もしかしたら、そういう質疑もあってもいいと思うんですよ。だから、まずそこをしないと、してからこういう今みたいな議論をしてもいいんじゃないかなと、もしくはしたほうがいいんじゃないかなというふうに私は思います。

○井出会長 ということは、まず、今回町から出た中間報告に対しての質疑をまずすると。

○阿部議員 そうです、まず質疑をする。その後で今話しているような議論をしても、し

たほうが逆にいいんじゃないかなというふうには私は思います。

○井出会長 今までとはちょっとまた違った意見がありました。

山中議員。

○山中議員 いい提案だと思います。そのように進めてもいいと思います。ただし、その行政側に対する伝え方はあると思うんですよ。じゃ、その場で質疑するということは、3月の2日までに、その説明をしていいかどうかの可否は決めてくれるんですねというふうに向こうが捉えるような、そういう捉え方はしないでほしい。

それはないですからねと、そういうことがあるかもしれないし、ないかもしれないし、まだわからない。とにかくまずやりましようなのであって、そこで はないですよというふうに伝えていただかないと、向こうはそういうふうに捉えますよ、今までの経緯からして。

○井出会長 今の話は、その後のことなんで、その前に質疑をしてほしいというのが意見ですから、それを含めてその後に……

○山中議員 いいですけども、ごめんなさい、いいんですよ。それでね、僕が気になるのは、その大事なところに関して、結論を先送りにしていくことにならないかということすごく心配なんです。とりあえずやりましよう、とりあえずじゃなくて。向こうとしては、じゃ、やるということはこういうことですよと、こっちは違いますよということずっと今までも何となくそういうボタンのかけ違いが、何か結局時間をこうロスさせているかなというふうに思うところは、やっぱり気になるんですよ。だから今回、今までの基本計画の議会検討会ではないですよというところの仕切り直しをしたはずなんだけれども、どうももう一回押し戻されている感じがするのは、やっぱり向こうはそういう意図があるのかなというふうに私は感じます。

○井出会長 一つ前進的な案が出たかなと思ったんですけども……

○山中議員 いいですよ、やること自体はいいですよ。

○井出会長 その後に、また今ね、やはり町側が今思っている発言を含めて、議会の承認云々という話も出ているので、それはお墨つきをつけるんじゃないという、こちらの今の発言者の皆さんから見ると、そういう もちよっとあろうかなと思う。それがやっぱりどうしても不安があるので、最終的に中間報告の議論をしたとしても、お墨つきになってしまうんじゃないかと、そういう不安があるというところで、なかなかちよっとこの議論が実は進まないんですよ。

どうぞ。

○井上副議長 この前の提言書の中の1項目めには、この事業について住民に情報発信をして、丁寧な説明会を開催するんですよということで、町側にそれを促しているわけですよ。

ですから、町側には例えば我々も説明しましたよと。同時進行で住民にも説明して、住

民からのいろんな意見も聞いて、この事業に加えるもの、削除するもので、議会は住民の代表ですけれども、事によっては、議会の例えば議論している、また方向性を出しても、住民が声を聞いたらギャップあるねと、議会と住民の要望とは。こういうのはあり得るんですよ。だから、それは議会が住民の声をどれだけ吸収しているかの差が出てくるんですけれども、でもそういうのがあり得るんですね。

だから、議会の声を聞いて、行政は住民の声も聞くということで同時進行で、別に行政はやってもいいのかなと。ただ、行政としては議会軽視になるんじゃないかと、それまた強く言われると。そうすると、見直しを含んで、やっぱり丁重に議会への声を聞かなきゃいけないのかなという、そういうこともあるから、ちょっとだから慎重になってきちゃっているのかなと。

住民の声を聞くと、あの計画はどうなっているのよと、町が、議会は何を検討しているんだというね、声が聞かれます。ところで、ほら、それは見えないからね。だから、そういう意味では、やっぱり議会のこういう議論の中身もどんどん発信していく必要があるのかなというふうには感じますね。

○井出会長 小島議員。

○小島議員 やはりこういう形で町から出てきた見直し案に対して、町が質疑応答やっってくださいよと、ある程度方向性を、いいのか悪いのか、見直し案に対していいのか悪いのか、やっってくださいよと言っているんだから、まず阿部議員が言ったように、質疑応答をやったらどうですか。

ただ、結論ありきじゃなくて、その結果を踏まえて、3月議会までに皆さんでそれに対して容認するのか、議会としては結論は出せませんというのか。質疑応答をやっていったら、町はもう議会には説明をしてあるんだから、別に町民に説明してもいいわけだと思うんですよ。

ただし、ただ、議会の了承を得て、容認をいただいて説明していますということはやめてほしいのね。それはやめてほしいというふうにするんですよ。そのあたりで今現在もやっているんだけど、我々も10月選挙で、また新しい議会体制になっているんだから、継続しなきゃならないものもあるんだけど、この件に関しては、やはり新しい議会構成の中で、また、私はゼロから議論してもいいと思っていますんで、今までこうだったからというのは、余り強調されるのはよくないんじゃないかなと思います。

以上です。

○井出会長 議長。

○馬場議長 結局ね、これこの質疑応答を大幅に意見を、これは本会議での個人総括の場合は意見を言わないで、そのものに対して問いたですという、それが質疑なんだけれども、この場合は、質疑も範囲をうんと広げて、自分の意見も言ってもいいよ、対案を出してもいいじゃない、そういうふうなつもりでやっているんです。

最後にまとめというのがちょっと勘違いされているかもしれないけれども、まとめというのは全部の意見が決まってオーケーですよ、じゃやってくださいじゃなくて、これは16人の意見を向こうに提出するという。だから最後に議論して、いや、これはやっぱり白紙撤回がいいという意見もあれば、じゃ、住民説明をきちんとやって、住民があとは判断することだしという、いいも悪いも意見をまとめて提出する、最終的に。それで町が判断すればいいんじゃないの。そういうふうな形のまとめを出したいな。

だから、今までずるずる来ちゃっているから、だからいいも悪いも意見を全部まとめて持っていくという、そういう形の議会としての返答はやっぱり出さなきゃいけない。悪い意見もいい意見もまとめてね。そのまとめだから、ちょっといいとか悪いとかが判断されて向こうへ持っていくんじゃないかと、そういうふうにとってもらえばいいと思うんですけども、そういうつもりで考えてみてください。

以上です。

○井出会長 今、議長のほうから、まとめについてのそういう考えだということでお話がありました。この辺も含めて、先ほどから出ている、検討してまだいまだにまだ議会との
がまだ、思いというか、その辺が があるのかなというのがあるので、その辺についてはこれからしっかりと話し合っていけばいいのかなと思います。あくまでも賛否ということではないということ先ほどから話がありましたとおり、まず21日の質疑をするかしないかというところで少し絞ってもらって、このスケジュールとして進めていきたいと思うんですが、その辺はどうですか。それでよろしいですか。

井上副議長。

○井上副議長 これまでの検討会では、担当課レベルは理事者側として答弁していたんですね。それで、馬場議長のほうから、町長に直接意見を、質疑をできるようにすべきではないかということで、先般、正副議長で町長に申し入れをしまして、この検討会には町長自身が出席して、町長の考え、議員の質疑、質問についても答えられるように対応してほしいということで申し入れをさせていただきました。その結果、お手元にあるように、理事者側として町長が出席をするということになっておりますので、だからそういう意味では、それぞれの議員、会派で町長にいろんな思いをぶつければいいのかなというふうに思いますね。そこは今までの検討会とはちょっと違う方向性を出しましたのでね。

○井出会長 そういうことで、じゃ、今の今後のスケジュールについて、このように進めていくという方向でよろしいですか。

渡辺議員。

○渡辺議員 質疑の内容のところ、この文言どおりに、要は解釈しなくていいということですね。

○井出会長 事務局。

○中山議会事務局長 議員さんのほうでそのようなルールでというか、町のほうに伝えま

すけれども、事務局長としてちょっと思うのが、これまで構想が出てきて説明があつて、構想に対して質疑をしました。質疑をして、皆さんで議論をして、意見、提言書という結果を出しました。次に、その意見、提言書に基づいて、また変更の案が出てきて、それに対して質疑をして、皆さんで議論して、それに対して意見、提言書という結果を議会として出しました。

それに基づいて今回、中間報告というものが出てきたんですけれども、その中間報告に対しての質疑をするのに当たって、またその結論を出したのに対してまで、質疑するのはどうなのかなとちょっと思っていて、それぞれ一つ一つの説明に対して結論を出していくというのが議会の機能ということだと思っっているんですよ。今回、中間報告の説明がありました。その中間報告に対して質疑をします。その質疑に対して、議会としてそれなりの結論を出さなくちゃいけないというところです。

その結論というのは、先ほどからご説明させていただいていますが、賛否ということではございません。 についての賛否につきましては、議員皆さん、先ほども申しましたが、一人一人ご意見も違う、いろんな意見があるというところで、そこは一般質問でもできますし、また、予算案なんかが出てきたときには、そこでは個人総括質疑、会派代表質疑、そういうところで賛成、反対の意見を町側に伝えることができます。

なので、ある程度、議会としての意見としてまとめないといけないんじゃないかなと思っっていて、例えば何か町から があれば、それに対して結論を出すのが議会であると思っっているんです。なのに結論を出さずに、そのまま質疑だけして、皆さん議論だけして、町には何の報告もせずに行くというところは、ちょっと私は違うんじゃないかなと思っっていて、いろんな意見がありましたという出し方でもよろしいかと思うんですが。

ちょっと一つ、一考なんですけれども、もし先ほどご意見がありましたように、町のほうでも町民説明してもいいんじゃないかという意見がありました。もしその皆さんのほうで町側がこの事業に対して町民に説明をして、意見をしてもいいよということであれば、ここの最後のまとめというところは、先ほど議長がおっしゃったような、今回の検討会で質疑を行った結果、こういう意見がありましたという報告というまとめ方でもよろしいのかなと思っっていて、その賛否を出すわけではなく、白紙撤回にするとか、ゼロから検討していくよとか、そういった議会で検討会で出た意見をまとめるといったようなイメージでまとめていけばよろしいんじゃないかなと、ちょっと思いました。

一応大きな事業なんで、議会の協力がないと前に進められないということで、議会のほうを、町側のほうも重く見ていただいて、結果、こういう今、議会のほうに問い合わせがあつて、事業が進まないというようになってしまっているんだと思うんですけれども、ここで今お話ししたように、町民に対しての説明、事業説明をしていっていいよということであれば、ここのまとめのところは今お話ししたような形でもよろしいんじゃないかなと、ちょっと思っていて、ただ、その結論を出さないというところは、どうかなというところ

で、その質疑の方法、また振り出しに戻るようなことがあつては、ちょっと議会としていけないのかなというところはちょっと思いましたんで。

○馬場議長 議案じゃないから、質疑する必要はないんじゃないの。

○井出会長 今、事務局のほうのこれに対する進め方について言ってもらいました。先ほどから出ているのはどちらかという、もう中間報告の審議よりも、さらにもっと大きいもともと持っている構想についての質疑もしたいという意見があつたんですけども、今まとめと一緒にちょっと結びつけちゃうと、また誤解が出ちゃうから、それは置いて、今回の議論について、とりあえずその中間案に対する質疑をする。

これは質疑だけなのか、意見を言っているのかという部分も出てくると思うんです、逆に言うと。そここのところが質疑だけにしちゃうのか、さもなければ、意見を言う、自分たちの思いをしっかりと話をしていくということも含めて進めていくのかということ、その辺で1回絞ってもらって、構想についてはやはりまたちょっと振り出しに戻っちゃうんで、そこから次の質疑の議論までしていいんじゃないかと思うんですよ。時間が正直言ってそれほどあるようには思えないけれども、別にこれ3月議会に提案するとかしないとか、もうとても間に合うはずもないんで、それ以後になっていくと思いますからね。それを考えるのは、云々と考えなくてもいいのかなという気もするんですけども、その辺も時間的な考え方はそれで大丈夫だよ、3月とかでね。

○中山議会事務局長 はい。

○井出会長 と思いますから、焦らないで。

ですので、まず21日の分について、渡辺議員から、やはり中間報告だけじゃなくて、もっと膨らませていきたいという話があつたけれども、この辺はどうですか、最終的に。

○渡辺議員 先ほど小島議員がおっしゃつたとおり、議会改選がありましたよね。

もありますし、一から質疑したい人もいるでしょうから、中間報告のみの部分について拠点づくり事業ですから、全体を質疑するという、そういった質疑内容で、ちょっと町のほうに。こういう対応をされるよということで話をしてほしいと思います。

○馬場議長 時間ないからね。うまく判断して。行って来いだから。

○井出会長 今、渡辺議員からそういう話が出ましたんで、1会派がそういう形で、ほかの会派は中間報告だけということにはちょっとできませんので、やるならみんな平等にやっていくということになりますので、そこはどうですか、皆さん、やっぱりそうしたいと思いませんか。

○小島議員 ぜひ、今質疑ではなくて、そういった意見も提言もしてもいいということで、基本構想のところから、局長が言ったんだけど、基本的には我々の決めたことというのは、今もほら新しい議会体制になっているから、前の議会、前の任期のときに決めたこ

とというのは、それを決めたことだけであって、新しい今の議会の構成の中では、それを前の議会が決めたことに対する拘束力はないと思うんだよね、俺ね。だから、別にまたここで一からやっても俺は別におかしくないと思っている。

だから、前の議員さんが決められたことに、いつまでも我々が、今の議員が縛られるということはないと思いますので、そういった中で、やはり自由にいろいろ議論をしていくべきだと思っています。 で質疑だけではなくて、議長が言ったように、いろんな提言でもいいし、質問をしてもいいということで、確認さえとってもらえば。

○井出会長 小島議員のほうからそういう話がありました。今、21日のこの議会検討会の開催について、質疑応答というふうに書いてありますけれども、質問も含めて、という方向でよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○馬場議長 余り一般質問みたいに逸脱しないようならいいと思います。

○井出会長 余り過度に逸脱しても、これは逆に審議の妨げにもなりますので、そこら辺は常識の範囲で。

じゃ、そういう形で、21日については、質疑応答については、 のことできたいと思いますけれども、それでよろしいですね。

じゃ、スケジュールについて、21日の開催を含め、それで了承ということよろしいですか。異議はございますか。

(「異議なし」の声あり)

○井出会長 わかりました。

それでは、異議がないということでございます。それでは、質疑については通告制といたしますので、各党派代表のお手元にも配付させていただいています質疑通告書により、2月3日午後5時まで事務局へ提出していただきますよう、よろしく願いいたします。

○渡辺主幹 通告書につきましては、終わり次第、代表と無党派の方にはお渡しさせていただきます。

議 題

(5) 日程第5 次回の開催日程について

○井出会長 それでは、続きまして、日程第5、次回の開催日程についてを議題といたします。

先ほど、今後のスケジュールで協議した結果、2月21日金曜日、議会運営委員会終了後に質疑、質問を行いますので、よろしく願いいたします。

日程は以上のとおりですが、特に何かありましたら、ご発言を願います。

山中議員。

○山中議員 委員会も終わったという前提でなんですけれども、先ほど事務局のほうから、事務的なこれまでの流れの説明がありました。小島議員から、改選をしているんだから、過去のことは置いておいてゼロからしてもいいんじゃないかという話があったわけですが、私はそうは思っていないで、やっぱり流れというものがあると思っています。流れの中で私は事務的なその説明にちょっと僕はそごがあるというふうに思っています。

補足だけさせていただきたいんですが、構想について、この検討会で質疑をして、それから基本計画について質疑をして、それから中間報告についてしないというのはおかしいんじゃないかという、こういう があったんですけれども、構想については、そういう場というのは持っていませんよ。あくまでも全協の中で説明があったときに、その場での質疑はありました。でも、よく中身を見てから質疑をするという場はなかったと私は思っています。それはもう3年前の話ですよ。

2年前の時点で、その構想をベースにして基本計画をつくった。その時点でさまざまな質疑があったんだけど、いや、それはその場でやるんじゃなくて、これは検討会つくりますよということで、そこで検討会をつくったと思っています。その検討会の中で、私はずっと同じことしか言っていないですよ。構想はいいと思っているけれども、その構想に沿った形の基本計画になっていないじゃないですかと、私はこれしか言っていないんです、一言でいえば。

でも、その構想の話はしてくれるなど、これはもうこの構想認められたんだから、基本計画についての質疑なんだから、中身の話をしてくれと、構想のことはやめてくれと、こう言われて、細かい話になっているわけですよ。

それをね、構想について今さらやるなど、今のこの時点で言われるのは、僕は非常に納得いかないですね。構想を認めた上で、その構想と基本計画の関係がおかしいんじゃないかという話は一言も取り入れられていると思っていないですよ。そのやり方が問題なんじゃないかと思うので、だから瑣末な問題ではなくて、全体の話をしなければ、愛川町の将来にとって禍根を残すことになるんじゃないんですか。私だけじゃなく、そういう思いを持っている方は多くおられると私は思っています。これは事務局の説明に対して、ちょっと私の認識が違うよというご説明であります。

以上です。

○井出会長 意見を含めてやりますので。

ほかにありますか。

(「なし」の声あり)

○井出会長 お諮りいたします。

特にないようですので、以上で検討会を延会したいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○井出会長 ご異議ないものと認めます。よって、本日の観光・産業連携拠点づくり事業

議会検討会を延会といたします。

大変お疲れさまでした。

午前 10時08分 延会